

■コメント

1. インフルエンザ

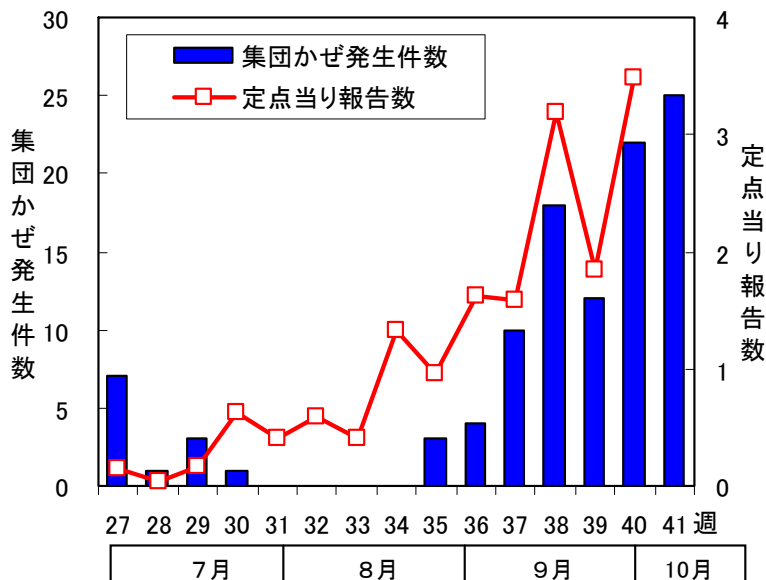
定点当り3.49人となり、大型連休による医療機関の休診の影響で減少した第39週に比べると1.9倍の増加となり、ほぼ連休前の第38週(定点当り3.19人)のレベルに戻りました。

また、新型インフルエンザによるとみられる休校・学年及び学級閉鎖等が増加しており、第40週は22件、第41週はすでに25件報告されています(10月6日現在)。

2. 腸管出血性大腸菌感染症

2件の報告があり、今年の累計は35件となりました。例年より多いペースで報告されています(10月4日現在)。10月も季節的に多い時期ですので、引き続き注意が必要です。

インフルエンザの定点当り報告数と集団かぜ発生件数



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注)年間	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注)年間	発生記号
インフルエンザ	129	3.49	-	▲	ヘルパンギーナ	5	0.21	0.15	
咽頭結膜熱	3	0.13	0.14		流行性耳下腺炎	27	1.13	0.62	▲
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13	0.54	0.88		RSウイルス感染症	3	0.13	0.07	
感染性胃腸炎	58	2.42	5.37	◀	急性出血性結膜炎	-	-	-	
水痘	28	1.17	0.46	▲	流行性角結膜炎	12	1.50	1.48	◀
手足口病	4	0.17	0.33		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	-	-	0.15		無菌性髄膜炎	-	-	0.09	
突発性発しん	9	0.38	0.83		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.52	
百日咳	5	0.21	0.07		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況(新型インフルエンザを除く)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	3	156	女性(10歳代)・1人、男性(60歳代)・2人
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	35	女性(20歳代)・O121、男性(50歳代)・O121
5	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	3	女性(80歳代)

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎
報告数	広島市	第36週	60	3	6	86	12	10	5	18	10	58	25	-	-	13	-	-	1	-
		第37週	59	5	11	89	10	19	-	19	10	38	22	-	2	18	-	-	3	-
		第38週	118	4	15	70	10	7	-	12	3	17	25	6	1	15	-	-	4	-
		第39週	68	2	5	51	12	3	1	16	7	4	18	5	-	15	-	1	2	-
		第40週	129	3	13	58	28	4	-	9	5	5	27	3	-	12	-	-	-	-
定点 当り	広島市	第36週	1.62	0.13	0.25	3.58	0.50	0.42	0.21	0.75	0.42	2.42	1.04	-	-	1.63	-	-	0.14	-
		第37週	1.59	0.21	0.46	3.71	0.42	0.79	-	0.79	0.42	1.58	0.92	-	0.25	2.25	-	-	0.43	-
		第38週	3.19	0.17	0.63	2.92	0.42	0.29	-	0.50	0.13	0.71	1.04	0.25	0.13	1.88	-	-	0.57	-
		第39週	1.84	0.08	0.21	2.13	0.50	0.13	0.04	0.67	0.29	0.17	0.75	0.21	-	1.88	-	0.14	0.29	-
		第40週	3.49	0.13	0.54	2.42	1.17	0.17	-	0.38	0.21	0.21	1.13	0.13	-	1.50	-	-	-	-
	全国	第38週	4.95	0.11	0.69	2.53	0.40	0.74	0.07	0.58	0.02	0.71	0.69	0.16	0.03	0.50	0.02	0.02	0.35	0.03
		第39週	4.25	0.06	0.38	1.76	0.44	0.40	0.04	0.40	0.02	0.30	0.54	0.10	0.01	0.34	0.02	0.02	0.25	0.02

■ 新たに判明した病原体検出状況 (新型インフルエンザの検査結果は下表のとおり)

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
RSウイルス感染症	0	女	2009/08/24	咽頭拭い液	RSウイルス
その他の呼吸器疾患(肺炎/間質性肺炎)	1	男	2009/08/22	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

■ 広島市における新型インフルエンザ発生状況(PCR検査確定例)

第40週

サーベイランスの種類	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	合 計
病原体サーベイランス	1	9	3						13
クラスターサーベイランス									0
入院サーベイランス	1			1					2
合 計	2	9	3	1	0	0	0	0	15

2009年累計(7月24日以降)

サーベイランスの種類	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	合 計
病原体サーベイランス	14	37	9	1				1	62
クラスターサーベイランス	4	4	3						11
入院サーベイランス	2	2		2					6
合 計	20	43	12	3	0	0	0	1	79

- ・すべて広島市衛生研究所のPCR検査による確定例です。
- ・病原体サーベイランスは、病原体定点において原則ランダムにインフルエンザ様疾患の患者の検体を検査するものです。
- ・クラスターサーベイランスは、新型インフルエンザの集団発生を早期に把握する目的で、その集団内の患者の検体を検査するものです。
- ・入院サーベイランスは、新型インフルエンザによる重症者の発生動向を把握するなどの目的で、入院患者の検体を検査するものです。
- ・病原体サーベイランスやクラスターサーベイランスの患者で入院した場合は、入院サーベイランスに計上します。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
 なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧くださいませ。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
 TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2009年第40週(9月28日～10月4日)